

様式第十四（第四十六条第一項及び第五十条第三項関係）

（記載例） 地下水の水質の測定又は地下水汚染の拡大の防止が講じられている
土地の形質の変更の確認申請書

○年 ○月 ○日

高松市長 殿

○○県○○市○○町○番○号

申請者 △△△△株式会社

代表取締役 ○○○○

（氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名）

土壤汚染対策法施行規則第46条第1項（第50条第3項において準用する場合を含む。）の規定による地下水の水質の測定又は地下水汚染拡大の防止が講じられている土地の形質の変更に係る確認を受けたいので、次のとおり申請します。

土地の形質の変更を行う要措置区域等の所在地	高松市△△町○○番○号、○○番×号	
土地の形質の変更の種類	掘削（観測井設置）	
土地の形質の変更の場所	別紙○のとおり	
土地の形質の変更の施行方法	別紙△のとおり	
土地の形質の変更の着手予定日及び完了予定日	着手予定日：○年 ○月 ○日 完了予定日：○年 ○月 ○日	
土地の形質の変更を行う要措置区域等において講じられている汚染の除去等の措置	原位置封じ込め	
土地の形質の変更の施行中に地下水汚染の拡大が確認された場合における対応方法	別紙□のとおり	
事故、災害その他の緊急事態が発生した場合における対応方法	別紙×のとおり	
最大形質変更深さより1メートルを超える深さの位置について試料採取等の対象としなかった土壌について土地の形質の変更をしようとする場合	土壤汚染状況調査に準じた方法による調査の結果 分析を行った計量法第107条の登録を受けた者の氏名又は名称	別紙●のとおり 株式会社○○分析

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

※添付書類

- 土地の形質の変更をしようとする場所を明らかにした要措置区域の図面
- 土地の形質の変更の施行方法を明らかにした平面図、立面図及び断面図
- 土壤汚染状況調査において最大形質変更深さより一メートルを超える深さの位置について試料採取等の対象としなかった場合であって、当該深さの位置の土壤について土地の形質の変更をしようとするときは、土壤汚染対策法施行規則第三条から第十五条までに定める方法に準じた方法により、当該土壤の特定有害物質による汚染状態を明らかにした図面